

千川中学校だより

11月号 平成28年11月7日(月)

本当の強さとは

千川中学校長 紅床 直也

東京都教育委員会は年に3回、6月・11月・2月に「ふれあい月間」を設け、各校におけるいじめや不登校等への取組状況を総点検するとともに、それらの未然防止や早期発見・早期対応に具体的に取り組めます。その一貫として、今月12日の「としま土曜公開」での校長講話で、私自身が小学校の時にいじめられた体験を話そうと思います。この学校だよりでは、違った角度から、良好な人間関係の構築に向けて学校として何をすべきなのかを書きたいと思います。

平成25年9月に施行された「いじめ防止対策推進法」を受け、東京都でも「いじめ防止対策推進基本方針」が示されました。本校も「いじめ防止基本方針」を策定し、「いじめ防止対策委員会」が設置されています。

都の方針には、早期発見・早期対応を基本として保護者、地域、関係機関と連携して取り組むことが必要であることが明記されています。学校は、どの学校現場でも起こり得るという教職員全体の共通認識の下、「いじめ防止」(未然防止のための取組)、「早期発見」(いじめの兆候を見逃さない取組)、「いじめに対する措置」(発見したいじめへの対処)、「重大事態への対処」(緊急対応)の4段階における具体的な対応をしなければなりません。

このうち最も大切となるのは防止段階における取り組みです。いじめ防止の三本柱は、「規律」「学力」「自己有用感」の育成にあります。年度当初の保護者会でも話しました通り、本校では、学校経営方針の重点の一つに生活指導・生徒指導の充実を掲げ、より一層の授業規律の確立を目指します。いじめ防止の具体策には「わかる授業」をすることも含まれます。一時間一時間が楽しく、自分自身が日々成長していることを実感できれば、心にゆとりが生まれ、友達関係の中でのトラブルも少なくなります。三つめの「自己有用感」とは、自分が周囲や社会に役立っているという意識です。本校では、第二学年の職場体験学習や生徒会の「ひじき運動」をはじめ、福祉活動・奉仕活動等、社会と直接的・間接的につながる体験を取り入れています。

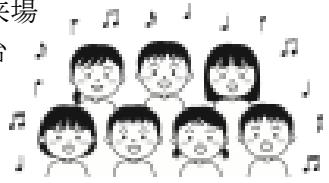
いじめはなかなか見えにくい問題です。ただし、子どもの健全な成長に著しい悪影響を与える案件であり、何としても早期発見・根絶をしなければなりません。最後に、校長講話の予告編として、全生徒に語りかけようと思っている内容の一部を文字に起こしておきます。

「今、私は校長として、皆さんに話をしていますが、小学生の時に「いじめられた」経験があります。私自身は、すごく気が強い方なので、表面には出しませんでした。内心は毎日悩み続けていて、自分を励ましながらか、歯をくいしばって登校した思い出があります。よく、それくらいどの世界にもあることだから・・・と言う大人がいますが、私自身は全くそう思いません。私はいじめられたつらい経験があるからこそ、他人をいじめ返そうとは全く思いませんでしたし、今でも、その思いを貫いています。私は、皆さん、一人ひとりが安心して、広い意味での学習に励み、夢の実現がはかれる学校でありたいと思っています。もし、この中で、いじめで悩んでいる人がいたら、どんな手段でもいいので、なるべく早く、学校に伝えてください。秘密にしないことが、結果的に皆さんを、貴方を、守ります。弱さを隠さないこそが本当の強さです。」

学校の先生になるためには、大学で専門の勉強をした上で都道府県教育委員会が実施する公立学校教員採用候補者選考を突破しなくてはなりません。原則として専門性を確認する筆記試験もあるのですが、最近特に重要視されるのが、教師としての「人間力」を試される面接です。どんなに指導技術が優れていたとしても、生徒の悩みが分からないようでは教師失格なのです。

文化祭、多くのご来場ありがとうございました

先月 29 日（土）の文化祭に多くの保護者の皆様、地域の方々にご来場いただきありがとうございました。クラス合唱をはじめ、各団体の舞台発表や展示発表における生徒一人一人の努力の結晶と実りある成果の現れをご覧いただけたのではないかと思います。生徒にとって、完成に向けて仲間と協力し合い、創り上げる喜びを感じる機会ともなりました。行事を通して培った力を今後の学校生活の様々な場面で活かしてほしいと思います。



平成 28 年度全国学力・学習状況調査の結果

4 月に 3 年生で行った、全国学力・学習状況調査の結果がまとまりました。平均正答率を見ると千川中の 3 年生は国語 A（主として知識）の問題では、全国平均より 2.6 ポイント、国語 B（主として活用）の問題では、4.7 ポイント、数学 B（主として活用）の問題では、1.6 ポイント上回りました。一方、意識調査の結果では「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。」という質問項目に対する否定的な回答の割合が大変高かったです。

「豊島区教育ビジョン 2015」では、生徒の「生きる力」の育成に重点を置いています。「生きる力」とは、「自ら課題を見付け、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力」を意味しています。このことから、他者と助け合い、よりよい社会をつくっていかうとする協働の態度に必要なコミュニケーション力を身に付けることは、とても重要なことです。このことを踏まえ、本校では、全教育活動を通して育成したい生徒の力として「**自分の考えや意見を伝えることができる力**」として、学校が一丸となって取り組んでいます。

トイレ洋式化改修工事1期終了

7 月末から行っていたトイレ洋式化工事の 1 期目が終了し、東トイレ（1・2 年生教室側）が新しくなりました。衛生的な床になり、洋式トイレは全部ウォッシュレットになりました。11 月からは 2 期目の工事（北トイレ）が始まります。工期終了は 2 月末を予定しています。その間は、引き続き正門は東門を使います。なお、安全面を考慮し、校内の一部階段を通行止めに致します。ご来校の際は、案内板をご確認ください。

防災ジュニアスタッフの訓練

先日 10 月 12 日（水）、今年度 2 回目の防災ジュニアスタッフの D 級ポンプ操作訓練を行いました。今回の訓練から 3 年生に代わって 1 年生が参加しました。地域の一員として「共助」の視点から防災・減災への意識を高め、災害有事の際に中学生としてできる役割を考えさせる機会としています。



生徒の活躍

○男子バスケットボール部 豊島区中学校秋季大会 第 1 位（都大会進出）
優秀選手賞 ＊＊＊＊＊（2 年）

○バドミントン部 豊島区中学校秋季大会 男子団体 第 2 位
男子個人ダブルス 第 3 位
＊＊＊＊＊・＊＊＊＊＊（2 年）

○豊島区読書感想文コンクール

優秀賞 「世界がもし 100 人の村だったら」 ＊＊＊＊＊（3 年）
（11 月 12 日（土）R&C フェスタで発表します。）

入選 「ABC！曙第二中学校放送部を読んで～言葉の力～」 ＊＊＊＊＊（1 年）

入選 「生きる」 ＊＊＊＊＊（3 年）

佳作 1 年 ＊＊＊＊＊、＊＊＊＊＊

2 年 ＊＊＊＊＊、＊＊＊＊＊、＊＊＊＊＊

3 年 ＊＊＊＊＊

○中 P 連親子ソフトボール大会に、2 年生 1 名、3 年生 9 名の生徒が参加しました。